

禅学関係雑誌論文目録 (1993年)

著者	論文名	雑誌名	巻(号)	発行月
<思想>				
盛永 宗興	十の心の世界	禅文化	147	1
盛永 宗興	苦しみの中で	禅文化	148	4
盛永 宗興	あるある	禅文化	149	7
柳田 聖山	そのままが仏心でござる	禅文化	147	1
柳田 聖山	禅学研究雑感	禅文化	148	4
柳田 聖山	一休寺の朝	禅文化	149	7
西村 恵信	鈴木大拙の原風景 (十二) (十三) (最終回)	禅文化	147~149	1,4,7,
沖本 克己	臨済禅をめぐる断想 (十四) ~ (十 六)	禅文化	147~149	1,4,7
沖本 克己	千崎如幻の手紙 (八) ~ (十)	禅文化	147~149	1,4,7
ウルス・アッ プ	究極の邂逅	禅文化	147	1
村上 俊	「身心一如」と「無情説法」	禅文化	147	1
西口 芳男	禅学点描 (二) ~ (四)	禅文化	147, 148, 150	1,4,10
ステーブ ン・アンティ ノフ	内なる深淵に吞まれて (前編) (後 編)	禅文化	148, 150	4,7
河野 太通	随処に主と作る	禅文化	149	7
古田 紹欽	私は卵である	禅文化	149	7
鏡島 元隆	悟りの仏法から願の仏法へ	駒沢大学仏教学部 論集	24	10
原田 弘道	日本の課題と禅の精神	駒沢大学仏教学部 論集	24	10
石島 尚雄	道元禅とカント	曹洞宗研究員研究 紀要	24	9
石川 光学	禅戒鈔の現代的意義	曹洞宗研究員研究 紀要	24	9
鈴木 哲雄	純禅と禅機—時代区分と関連させ て—	印度学仏教学研究	41-2	3

長谷川昌弘	仏眼清遠の思想	印度学仏教学研究	41-2	3
岡島 秀隆	『永平広録』の思想について―物事に対する道元の心的射程―	印度学仏教学研究	41-2	3
ジラルール・フレデリック	道元禅師の「三界唯心」について	印度学仏教学研究	41-2	3
立川 武蔵	『金剛般若経』にみられる「即非の論理」批判	印度学仏教学研究	41-2	3
竹内 良英	パリー仏教聖典に見られる禅定思想と食物との関係	禅学研究	71	1
西村 恵信	禅に於ける「形而上的なるもの」と「実存的なるもの」	禅学研究	71	1
村本 詔司	久松真一とユングの対話	禅文化研究所紀要	19	3
川村 永子	新しい価値の探求―禅における倫理の問題	禅文化研究所紀要	19	3
吉津 宜英	「一方を証するとき一方はくらし」の一句の解釈について	宗学研究	35	3
笠井 貞	道元禅師とクザーヌスの光明について ―比較思想的研究―	宗学研究	35	3
辻口雄一郎	『道元の研究』について ―「一念」と「存在の根拠」の論理構造	宗学研究	35	3
石島 尚雄	『正法眼蔵』と科学をめぐる諸問題―特に「有時」の巻と「相対性理論」について―	宗学研究	35	3
星 俊道	『正法眼蔵』と仮想現実	宗学研究	35	3
石川 力山	近代仏教史における内山愚童の位置	宗学研究	35	3
工藤 英勝	曹洞宗と国家(三)―『宗報』における政教論―	宗学研究	35	3
小玉 大圓	瑜伽師と禅経典の研究(Ⅰ)―伝承の問題点を中心に―	龍大仏教文化研究所紀要	31	
ツルティム・ケサン 佐々木隆子 芳村 博美	悟りへの階梯に関する解剖学的説明 ―その一―	仏教学研究	49	3
伊藤 真愚	宗門から見た生命倫理 ―禅と陰陽五行論第九報―	教化研修	36	3
守屋 茂	道元教学とその論理構造について―三諦円融そして五位頌に培われて―	叡山学院研究紀要	16	12

<日本>

今泉 淑夫	中世禅林の口遊	禅文化	149	7
石川 力山	中世曹洞宗切紙の分類試論（二十一）	駒沢大学仏教学部論集	24	10
石川 力山	中世仏教における尼の位相について（下）	駒沢大学禅研究所年報	4	3
伊藤 秀憲	『正法眼蔵闡書抄』口語訳の試み—発菩提心—	駒沢大学仏教学部論集	24	10
角田 泰隆	仮字『正法眼蔵』と真字『正法眼蔵闡』	駒沢大学仏教学部論集	24	10
岩永 正晴	『正法眼蔵』「仏性」巻における“衆生”の語について	駒沢大学仏教学部論集	24	10
宮地 清彦	『伝光録』の引用語句について	駒沢大学仏教学部論集	24	10
竹内 良英	道元禅師の入浴観と入浴規矩	曹洞宗研究員研究紀要	24	9
安本 岱隆	『永平広録』における業思想（一）	曹洞宗研究員研究紀要	24	9
安藤 嘉則	洞門抄物における夜参の資料	曹洞宗研究員研究紀要	24	9
飯塚 大展	大東急文庫蔵『碧岩録古鈔』について	曹洞宗研究員研究紀要	24	9
中野 優信	曹洞宗における女性（尼僧「寺婦人」）の地位	曹洞宗研究員研究紀要	24	9
粟谷 良道	『正法眼蔵』における光明について	印度学仏教学研究	41-2	3
角田 泰隆	『正法眼蔵』の成立に関する試論—六十巻本に編集されなかった巻々—	印度学仏教学研究	41-2	3
飯塚 大展	『狂雲集』における“肉食妻帯”詩について	印度学仏教学研究	41-2	3
鈴木 祐孝	天桂伝尊の研究	印度学仏教学研究	41-2	3
辻口雄一郎	『正法眼蔵』における「自己」について	印度学仏教学研究	41-2	3
飯塚 大展	『蒲室集抄』について	禅学研究	71	1
荒川 元暉	白隠「濃陽富士山記」について	禅学研究	71	1
小林円照・雄山学人篇	花園法皇・日峰禅師関連年表	禅学研究	71	1
松岡由香子	新生の道元—十二巻本正法眼蔵をめぐって	禅文化研究所紀要	19	3

山内 舜雄	『摩訶止観』と『正法眼蔵』(承前)	駒沢大学仏教学部 研究紀要	51	3
原田 弘道	瑩峨両祖における「月有兩箇」話 の意義	駒沢大学仏教学部 研究紀要	51	3
石川 力山	中世曹洞宗切紙の分類試論(二十一) - 呪術・祈禱関係を中心として -	駒沢大学仏教学部 研究紀要	51	3
岩永 正晴	「発菩提心」巻について- 「発無 上心」との比較- (二)	駒沢大学大学院仏 教学研究会年報	93	5
千葉 正	古義派真言宗における禅宗批判- 『開心抄』考	駒沢大学大学院仏 教学研究会年報	93	5
杉尾 玄有	十二巻本『正法眼蔵』とく月>の 問題- 百巻『正法眼蔵』定本は何 を目ざしたか	宗学研究	35	3
新井 勝龍	大修行巻と深信因果巻 - 異類中 行説をめぐって-	宗学研究	35	3
峰岸 孝哉	『正法眼蔵』にみられる邪見・邪 解の語義について	宗学研究	35	3
高橋 正己	『正法眼蔵』からみた運命と宿業 の問題	宗学研究	35	3
栗谷 良道	『正法眼蔵』における出家と在家 (上)	宗学研究	35	3
栗谷 良道	『正法眼蔵』における草木国土論 (二)	曹洞宗宗学研究所 紀要	6	3
角田 泰隆	道元禅師の身心脱落の時期とその 意義	宗学研究	35	3
務台 孝尚	道元禅師の修証観(二) - 禅師の 批判するもの -	宗学研究	35	3
熊本 英人	『正法眼蔵』の礼拝	宗学研究	35	3
安本 岱隆	道元禅師の修証観- 特に新草十二 巻本との関係における -	宗学研究	35	3
岩永 正晴	「発菩提心」巻について- 「発無 上心」との比較- (一)	宗学研究	35	3
團野 弘之	正法眼蔵写本を調査して生じた疑 問の数々	宗学研究	35	3
角 紀子	『示了然道者法語』について	宗学研究	35	3
吉田 道興	宮城県瑞川寺蔵『永平開山道元 尚行状録』について	宗学研究	35	3
安田 真乗	伝光録の私釈を終えて	宗学研究	35	3
渡部 正英	『伝光録』についての一視点(二)	宗学研究	35	3

宮地 清彦	『伝光録』の引用語句について—特に鳩摩羅多・闇夜多尊者章について—	宗学研究	35	3
東 郁雄	坐禅用心記の世界	宗学研究	35	3
竹内 弘道	『坐禅用心記』の考察	宗学研究	35	3
尾崎 正善	『瑩山清規』の変遷について—徳泉寺蔵「延宝五年本」について—	宗学研究	35	3
尾崎 正善	『瑩山清規』の変遷について(二)	曹洞宗宗学研究所紀要	6	3
石井 清純	岐阜県妙応寺蔵写本『青阪清規』について—『昌樹林清規』との内容比較から—	宗学研究	35	3
晴山 俊英	十六条戒について	宗学研究	35	3
関口 道潤	再び宗門に求められる袈裟の理念に就いて論ず	宗学研究	35	3
金子 和弘	道元禅師の宗旨と遺事(二)—初期教団を中心として—	宗学研究	35	3
志部 憲一	江戸期における洞門嗣法制度—貞享三年の「伽藍法」法制化問題—	宗学研究	35	3
志部 憲一	徳翁の大乗寺退院問題について	曹洞宗宗学研究所紀要	6	3
鈴木 祐孝	天桂伝尊の研究	宗学研究	35	3
藤川 正数	全岩林盛について—漢学的素養の一面—	宗学研究	35	3
安藤 嘉則	玉宝寺蔵『真歇和尚拈古抄(仮題)』について—大智の新出資料として—	宗学説明	35	3
飯塚 大展	尊経閣文庫蔵『臨濟録抄』について	宗学研究	35	3
矢沢 仁	『臨濟録』とその註釈書(末疏)の見解について—「名」をめぐる—	宗学研究	35	3
佐々木俊道	道元禅と本覚法門に関する—考察—『天台伝南岳心要』をめぐる諸問題—	宗学研究	35	3
菅原 昭英	江南禅林の期待と道元の活路	宗学研究	35	3
中野 優信	曹洞宗における血盆経信仰(一)	宗学研究	35	3
川口 高風	海巖宗突に関する二、三の問題	駒沢大学禅研究所年報	4	3
松田 文雄	瑩山と明峰	文化(駒沢大学)	16	3

大久保良順	【天台法華宗牛頭法門要纂】の牛頭法門について	天台学報	35	10
山口 興順	栄西入宋の意図のついて	天台学報	35	10
富村 孝文	鎌倉仏教諸師と末法思想	琉球大学法文学部紀要	36	3
渡部 誠一	【山上宗二記】の諸写本の比較研究(1)	明治大学教養論集	257	3
岩山 泰三	【狂雲詩集】楊貴妃関係詩群一表現の位相と儒仏観一	国文学研究	111	10
下田 祐輔	良寛自筆詩集における編集意識一【草堂詩集】を中心に一	広文学部紀要	53	12
<中国>				
平田 精耕	大慧の書を読む11、12、13	禅文化	147~149	1,4,7
武庫勉強会	宗門武庫を読む(一)	禅文化	149	7
水上勉+李建華・訳	济公伝(九)~(十二)	禅文化	147~150	1,4,7,10
石井 修道	鴻仰宗の盛衰(六)	駒沢大学仏教学部論集	24	10
石井 修道	訳注『大慧普覚禅師法語<続>』(上)	駒沢大学禅研究所年報	4	3
佐藤 秀孝	元代曹洞僧列伝(上)	駒沢大学仏教学部論集	24	10
佐藤 秀孝	元代曹洞禅僧列伝(中)一東明慧日と東陵永興の来日以前の動静一	駒沢大学仏教学部研究紀要	51	3
河合 泰弘	【北宗五方便】とその周辺	駒沢大学仏教学部論集	24	10
古賀 英彦	壇経雑識	禅学研究	71	1
沖本 克己	西明寺と吐蕃仏教	禅学研究	71	1
唐代語録研究会第二班	「南泉語要」第一則上堂訳注	禅文化研究所紀要	19	3
村上 俊	雲門について	禅文化研究所紀要	19	3
佐々木 閑	典座に関する一考察	禅文化研究所紀要	19	3
沖本 克己	敦煌発見のチベット語禅文献の研究【大乘無分別修習義・序文】(Pelliot 996)について	花園大学研究紀要	25	3
羽金 之宏	【金剛般若経疏】の研究	駒沢大学大学院仏教学研究会年報	93	5
佐藤 秀孝	元朝における曹洞三派の交渉一北地曹洞・宏智派・永平下一	宗学研究	35	3

河合 泰弘	『北宗五方便』と神会	宗学研究	35	3
大松 博典	禅と天台 一智旭の場合一	宗学研究	35	3
佐藤 俊晃	近世村落社会における修験と曹洞宗寺院(続) 一飢饉時における両者の対応一	宗学研究	35	3
吉田 俊英	曹洞宗における秋葉信仰(二) 一遠州秋葉寺の曹洞宗への帰属を中心として一	宗学研究	35	3
松本 史朗	『金剛経解義』と神会	駒沢大学禅研究所 年報	4	3
高堂 晃壽	敦煌本『壇経』における戒の構造	駒沢大学禅研究所 年報	4	3
伊吹 敦	『心王経』について	駒沢大学禅研究所 年報	4	3
<朝鮮>				
宋 天恩	休静の三教観	印度学仏教学研究	41-2	3
<その他>				
松原 哲明	推論の愉しさ	禅文化	147	1
葉室 頼昭	本当のこと・嘘のこと	禅文化	147	1
千坂 成也	寺の活動 ザ・ゼン・クラブ	禅文化	150	7
尾崎 正善	宗門葬祭儀礼の一側面一宗門清規・回向の変遷を通して一	曹洞宗研究員研究 紀要	24	9
沖本 克己	MENSURA SOILI一禅文献の計量語彙論的研究の試み	禅文化研究所紀要	19	3
ウルス・アッ プ	禅仏教に関する記念の英文刊行物 一覽	禅文化研究所紀要	19	3
中野 東禅	地藏菩薩による「とりこ」信仰の実態一教化学的視点からの考察一	駒沢大学仏教学部 研究紀要	51	3
<書評・紹介>				
芳澤 勝弘	『禅語辞典』(書評)	花園大学研究紀要	25	3

以上、論文索引は、ごく僅かの書籍を渉猟しただけの不十分なもので、遺漏も多々あるかと思う。今後も随時追加増補して行く所存である。関係各位の御教示と報告を期して待つ。

担当者 中島 志郎 九拜